

令和6年度 第3回 北星中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 2025年3月12日（水）14時00分から16時00分まで
- 2 開催場所 北星中学校 校長室
- 3 出席委員 長谷川 良樹、米倉 保之、古山 照美、横田 明、
野中 美恵子、澤田 ひろ子、大野 利幸、
- 4 欠席委員 金原 正人
- 5 学 校 野中 崇（校長）、池田 隆宏（教頭）、矢入 信典（教務主任）
村松 美沙（CSディレクター）
- 6 教育委員会 牧野 知子（教育総務課）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 村松 美沙
- 9 議長の選出

司会（教頭）から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、古山会長から野中委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- （1）学校関係者評価（学校評価アンケート）について
- （2）学校運営協議会自己評価について
- （3）令和7年度学校運営の基本方針について
- （4）学校運営に必要な支援について
- （5）その他

11 会議記録

司会（教頭）から、委員総数8人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校関係者評価（学校評価アンケート）について

議長（野中委員）の指示により、教務主任（矢入）から、別紙資料に基づき「学校関係者評価（学校評価アンケート）」について報告があった。昨年度と同じ内容でアンケートをとったところ、すべての項目で昨年度より良い結果となった。今後の課題としては、良い部分の割合を増やし、「愛が一番、北星」を合い言葉に誰一人とり残すことなく、生徒の限りない可能性を引き出し、よりよい幸せな未来に向かっての成長につなげていけるよう精進していきたいと説明があった。

<御意見>

- ・学校公開（参観会）を4回に増やし、昨年度の課題を減少させたことは成果といえる。（米倉委員）
- ・「困ったことや悩みがあるとき、先生に相談しようと思う」という項目が55%から72%と大きく上回ったことは素晴らしいが、「思わない」という生徒も28%いるのが心配である。抱えこんでいる生徒のことをもう少し詳しく知りたい。（澤田委員）
- ・先生への相談が55%→77%へと上がった具体的な取り組みを教えてほしい。（大野委員）

先生と生徒の距離間がとても良く、いつでも相談できる関係づくりができていると感じる（教務主任）。

日常の関わり方が大事だと感じている。体育祭では団長の呼びかけで生徒全員の大きな輪ができたり、生徒が考えたのぼり旗を作ったり等、生徒の意見を取り入れ、自主性を大切にしている積み重ねの結果だと思う。（教頭）

職員室をみても明るく風通しがよいと感じるため、先生方の働きやすい環境が生徒への指導に繋がっていると感じる。（大野委員）

- ・保護者アンケート「⑦学校は子供がわかりやすい授業をしている」が「そう思う70%」と高いが、「⑥学校は、個々の学力や理解度に応じた学習支援を行っている」の「そう思う53%」と低く、授業と学習支援のギャップを感じる。（横田委員）
- ・どうやって子供たちの悩みを解決したのかが知りたいし、踏み込んだ分析があると保護者も安心できると思う。（古山委員）
- ・先生に困ったことを相談したいかどうかは、先生の対応の仕方かわると思うので先生の指導がよいと感じる。（長谷川委員）
- ・学習支援について学力が低い生徒への支援方法とは。（澤田委員）

学期毎の三者面談等で保護者からの希望・了承を得て、ステップルームに取り出しをして授業を行っている。フレックスルームの支援員が1人のため希望の生徒が多い場合は厳しい面もある。また、テスト前の先生方による学習支援や不登校生徒はフレックスルームで対応している。外国人は外国人支援やNPOの方が対応、学校以外の場所にも行ったりしている。生徒数に対して教員数の限りがあるため大変だが頑張っていきたい。（教頭）

不登校が全国的に多くなってきている。来年度もフレックスルームに目を向けて支援強化をしていく。（校長）

（２）学校運営協議会自己評価について

議長（野中委員）の指示により、別紙資料に基づき、教頭（池田）から「学校運営協議会自己評価」について説明があった。

<御意見>

- ・来年度は令和8年9月以降実施の休日部活動の地域移行について話したい。小学校でも音楽や陸上等の部活動がなくなっていく中、やりたい子や優秀な子は私立中に受験してしまうため、小中連携して魅力ある地域クラブを作っていく必要がある。特に太鼓部は地域独自のため残していくべきである。自治会からの支援は後援会費用となる。地域クラブ化に合わせて、地域に協議会の存在と協議事項や課題を認識していただくための情報発信を積極的にすべきである。（長谷川委員）
 - ・小太鼓については自治会の支援を得て修理を依頼していると思うが、お金がかかる大太鼓の修理についても多方面への資金援助を検討していくべきである。（古山委員）
- 太鼓部については、太鼓の修理だけではなく大会が全国大会となるため移動費等活動するためにお金がかかっている。太鼓を運ぶトラックについても、現状は顧問が自分のトラックを運用している。（教頭）
- 休日部活動の地域移行については令和7年10月頃に方針が出る。子供の8割は部活に

入りたいが、土日の地域クラブに入りたいのが5割しかいないアンケート結果をみると、地域クラブ化のニーズについても検討が必要である。6月の自治会長が集まる学校教育後援会で説明する。(校長)

- ・太鼓部だけではなく、部活動全体について保護者への情報認知も必要ではないかと思う。

(澤田委員)

- ・中学は自分の将来を考える年齢のため、将来幸せに生きていくために社会の仕組みを教えてほしい。(横田委員)

- ・子供たちのために休日部活動の地域移行をしっかりと組織として組み込んでいくべきである。(大野委員)

- ・中学で社会にでる人は少ないが、高校で中退してしまう子の相談場所は中学が良いのではないかと思う。(澤田委員)

浜松市は15歳以上の相談窓口が増えている。先生方も異動があり、身近だと相談しづらいこともあるので行政が宣伝するのが一番だと思う(古山委員)

不登校や中学で就職する生徒には相談場所を紹介している。(教頭)

(3) 令和7年度学校運営の基本方針と学校運営に必要な支援について

議長(野中委員)の指示により、別紙資料に基づき、校長(野中)から「令和7年度学校運営の基本方針について」について説明があった。

また、今年度初の試みで部活動、特別活動、その他の活動において、他の模範となり、学校・学年・地域に貢献した生徒にNorth Star Award(北星賞)を授与することにした。夢はぐ(学校運営協議会費)と教育後援会費より支出することをご了承いただきたい。

さらに、生徒たちにとって北星中で良かったと思ってほしいため、卒業式後3年生にサプライズで「がちゃがちゃ」を用意し実施しようと思っていると説明があった。

<御意見>

- ・「日本一の学校」と掲げているが、「日本一」とは何をもってなのか。(横田委員)

「日本一」とは理想を語り合って、卒業する子が北星中で良かったと思ってくれるのが一番だと思う。(教頭)

説明された令和7年度学校運営の基本方針について、協議の結果、全員意義なく承認した。

(4) その他

- ・さくら連絡網で制服の寄付を依頼。6月21日(土)リユース会を実施する。

昨年は51組利用。1時間前から並んでくれた方もいて、お手伝いできる方はお願いできればと思う。(古山委員)

- ・朝のゴミ出し中、女子中学生から「おはようございます」と挨拶いただき嬉しかった。(横田委員)

今後も生徒が良い行いをした情報や地域で活躍した情報は是非学校に連絡いただきたい。(教頭)

12. 報告

来年度学校運営協議会の4回実施と委員9名でスタートすると報告があった。学校支援コーディネーターの選出については次年度への課題とする。

13. 連絡

司会（教頭）から、次回会議は、2025年5月23日（金）14時から校長室で開催する旨の連絡があった。

以上